



第 97 卷 第 6 号 史学・地理学・考古学

論 説

- 神社の災異と軒廊御卜……………勝 山 清 次 (1)
——一世紀における人と神の関係の変化——
- 中世における葬送の僧俗分業構造と其の変化……………島 津 毅 (37)
——「一向僧沙汰」の検討を通して——

研究ノート

- 農民一揆後の「付ヶ火」と近代移行期の地域秩序……………今 村 直 樹 (73)
——熊本県阿蘇郡を事例に——
- 近世京都の宿屋と都市空間……………佐々木 夏 妃 (106)
——三条大橋西詰・中島町を中心に——

書 評

- 森田猛著『ブルクハルトの文化史学
——市民教育から読み解く——』……………渡 辺 和 行 (127)
- 滝波章弘著『〈領域化〉する空間
——多文化フランスを記述する——』……………荒 又 美 陽 (133)

史 学 研 究 会

京都大学大学院文学研究科内

受贈誌

(二〇一四年七月十日)
(二〇一四年十月六日)

奈良文化財研究所紀要(奈良文化財研究所) 二〇一四

国立歴史民俗博物館研究報告(国立歴史民俗博物館) 一八三

国立歴史民俗博物館研究報告(国立歴史民俗博物館) 一八六

古代文化(古代学協會) 六六一—

史學雜誌(史學會(東京大学文学部内)) 一二三—一六

国家學會雜誌(国家学会事務所) 一二七—五・六

史學研究(廣島史學研究會) 二八四

信濃(信濃史学会) 六六一—七

日本歴史(日本歴史学会) 七九五

日本史研究(日本史研究会) 六二三

神戸大学史学年報(神戸大学史学研究会) 二九

歴史研究(大阪教育大学歴史学研究室) 五

一

アジア研究所所報(亜細亜大学アジア研究所) 一五五

東方學會報(東方学会) 一〇六

中山大学學報 社会科学版(中山大学學報編集部) 五四—一

中山大学學報 社会科学版(中山大学學報編集部) 五四—二

中山大学學報 社会科学版(中山大学學報編集部) 五四—三

國史學(国史学会) 二二三

人文地理(人文地理学会) 六六一—三

史迹と美術(史迹美術同致会) 八四六

中央研究院 歴史語言研究所集刊(中央研究院歴史語言研究所) 八五—二

國立臺灣大學 考古人類學刊(國立臺灣大學學院人類學系) 八〇

東方學(東方學會) 一二八

經濟論究(九州大学大学院經濟学会) 一四九

史泉(関西大学史学・地理学会) 一一〇

立命館産業社会論集(立命館産業社会学会) 五〇—一

史學(三田史学会) 八三—一・三

日本学刊 JAPANESE STUDIES(中国社科院日本研究所中華日本学会) 二〇

海南史學(高知海南史学会) 五二

史學雜誌(史學會(東京大学文学部内)) 一二三—七

茨城大学文学部紀要 人文コミュニケーション学科学論集(茨城大学文学部) 一六

茨城大学文学部紀要社会科学論集(茨城大学文学部) 五七

信濃(信濃史学会) 六六一—八

紀尾井論叢(上智大学Spalienta会) 二

經濟研究(一橋大学經濟研究所) 六五—三

九州国際大学教養研究(九州国際大学教養学会) 二〇—二・三合併号

經濟論集(ソウル大学校經濟研究所) 五三—一

日本史研究(日本史研究会) 六二四

考古学報(中国社会科学考古学研究所) 二〇—四—三

ANTHROPOLOGICAL SCIENCE (The Official Journal of THE ANTHROPOLOGICAL SOCIETY OF NIPPON) 一二二—二

日本歴史(日本歴史学会) 七九六

立命館法學(立命館大学法学会) 三五四

日本民俗学(日本民俗学会) 二七九

史迹と美術(史迹美術同致会) 八四七

日本史の方法 (奈良女子大学日本史の方法

研究会) 一一

国家學會雜誌 (国家学会事務所) 一二七

七・八

三康文化研究所所報 (三康文化研究所) 四

九

愛知大學文學論叢 (愛知大学文学会) 一五

〇

栃木県立文書館だより (栃木県立文書館)

五六

社会経済史学 (社会経済史学会) 八〇—二

立命館文學 (立命館大学人文学会) 六三八

岡崎市史研究 (岡崎市教育委員会) 三三三

岡崎市史研究 (岡崎市教育委員会) 三四

史學雜誌 (史學會 (東京大学文学部内))

一一三—八

信濃 (信濃史学会) 六六一—九

龍谷大学佛教文化研究所紀要 (龍谷大学佛

教文化研究所) 五二

日本史研究 (日本史研究会) 六二五

日本歴史 (日本歴史学会) 七九七

政大史粹 (政大史粹編纂小組) 第二六期

東洋史研究 (東洋史研究会) 七三—二

古代文化 (古代学協會) 六六一—二

Journal of Northeast Asian History

(Northeast Asian History Foundation)

一一—

史迹と美術 (史迹美術同友会) 八四八

韓国民族文化 (釜山大學校韓國民族文化研

究所) 五二

東北文化研究室紀要 (東北大学文学研究科

東北文化研究室) 五五

東北文化資料叢書 (東北大学大学院文学研

究科東北文化研究室) 七

国立歴史民俗博物館研究報告 (国立歴史民

俗博物館) 一八七

オリエント (日本オリエント学会) 五七一

—

編集後記

書評を除くと、本号はほとんど日本史特集の観を呈している。そのような中で、四本目は歴史地理学を専攻する院生が書いた論文である。近世京都の宿屋、なかでも集積地の一つである三条大橋西詰の中島町にスポットライトを当てたものだ。現在、橋のたもとから西へ歩を進めてみても、当時から続く宿屋を確認することはできない。一軒ある古そうな宿屋も大正時代の創業の

ようだ。しかし、この論文を読んだ私の脳裡には、やっとの思いで京都にたどり着いた旅人や、必死に客の呼び込みをする宿屋の丁稚の姿などがくっきりと浮かんできた。このような歴史地理的想像力を駆使した街歩きも、『史林』に集う私たちの楽しみの一つであろう。

(柴田陽一)

◆史学研究会ホームページ・アドレス

<http://www.shigakukenkensyuukai.jp/index.html>

二〇一四年二月二五日印刷 定価一、二〇〇円

二〇一四年一月三〇日発行

史林 第九七巻第六号 (通巻第五〇八号)

東京都中央区青田町京都大学大学院文学研究科内

電話 (〇七五) 七五三、二七八七

FAX (〇七五) 七五三、二七八七

発行人 史学研究会

振替京都〇一〇七〇二一五—一五五番

理事長 永井和

印刷所 中村印刷株式会社

京都市南区上島羽篠田二九

THE SHIRIN

or the

JOURNAL OF HISTORY

Vol. XCVII No. 6

November 2014

CONTENTS

Articles :

- KATSUYAMA Seiji, Strange Phenomena at Shrines and *Konrō no Miura* during the Heian Period: Changes in the Relationship between Humans and Deities in the 11th Century (1)
- SHIMAZU Takeshi, The Structure of the Division of Labor between Priests and Laity at Funerals during Medieval Times and Changes Therein, As Viewed through an Examination of *Ikkō sō zata* (37)

Notes :

- IMAMURA Naoki, Incidents of Arson, *Tsukebi*, Following Peasant *Ikki* and Local Social Order during the Transition to the Modern Period: The Case of Aso-gun in Kumamoto Prefecture (73)
- SASAKI Natsuki, Urban Spaces and Inns in Early Modern Kyoto: The Case of Nakajima-chō on the West Bank of the Kamo River at Sanjō Bridge (106)

Book reviews :

- MORITA Takeshi, *Kulturgeschichte bei Jacob Burckhardt* (WATANABE Kazuyuki) (127)
- TAKINAMI Akihiro, *Paris, Genève, Méditerranée : l'espace ludique et ses territoires multiculturels* (ARAMATA Miyo) (133)

Miscellaneous :

Published

by

THE SHIGAKU KENKYUKAI

(*The Society of Historical Research*)

Kyoto University, Kyoto, Japan

定価 1,200円

ISSN 0386-9369